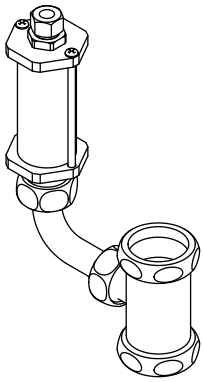
ITOMIC
お湯のトータルプランナー

工事要領・取扱説明書

製品名：小型電気給湯器専用
膨張水排出装置ブローキャッチャー

型　式：BCH-1M,2M,3M,4M,5M,6M



このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本書を事前によくお読みになり、理解した上で設置、ご使用ください。
設置工事（試運転後は、必ず本書をご使用になる方にお渡しください。
本書は、いつでもご覧になれるよう所定の場所に保管してください。
（この工事要領、取扱説明書に記載されている事項を守らずに発生した事故について、弊社は一切責任を負いません。）

株式会社日本イトミック
〒 131-0045 東京都墨田区押上 1-1-2 東京スカイツリーイーストタワー 24F
TEL:03（3621）2121 （大代表）　FAX:03（3621）2130
フロント課（修理依頼承り先）
TEL:03（3621）2161 （代表）　FAX:03（3621）2163

もくじ

共通項目・・・

共通項目

安全上のご注意

本書にはお客様への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、お守りいただく事項を記載しています。設置の前に、必ず本書をお読みになり、内容をよく理解された上で設置してください。製品引き渡しの際は必ず本書をご使用になられる方にお渡しください。

警告表示の意味

本書では、取り扱いを誤った場合などの危険の程度を、次の2つのレベルに分類しています。

⚠警告 この表示の欄は、『死亡または重傷などを負う可能性が想定される』内容です。

⚠注意 この表示の欄は、『傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される』内容です。

△の記号は、注意（警告を含む）をうながす事項を示しています。
△の中に具体的な注意内容が描かれています。
（左図の場合は『高温注意』という意味です。）

⃠の記号は、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。
⃠の中や近くに、具体的な禁止内容が描かれています。
（左図の場合は『分解禁止』という意味です。）

●の記号は、しなければならない行為（強制行為）を示しています。
●の中に、具体的な指示内容が描かれています。
（左図の場合は『電源プラグをコンセントから抜くこと』という指示です。）

重要事項：必ずお守りください

⚠注意	
❗	**取り扱いにはご注意ください。** 強い力が加わると本体の透明パイプが破損するおそれがあります。
	パッキンの入れ忘れやねじ込み部のゆるみにご注意ください。 漏水の原因となります。
	Oリングはねじれないように装着してください。 漏水の原因となります。
	必ず垂直に取り付けてください。 漏水の原因となります。

ブローキャッチャー(BCH-M)について

イトミックのブローキャッチャー(BCH-M)は面倒な間接排水の処理を簡単、快適に行える、特許取得の小型電気給湯器専用膨張水排出装置です。

ラインナップ

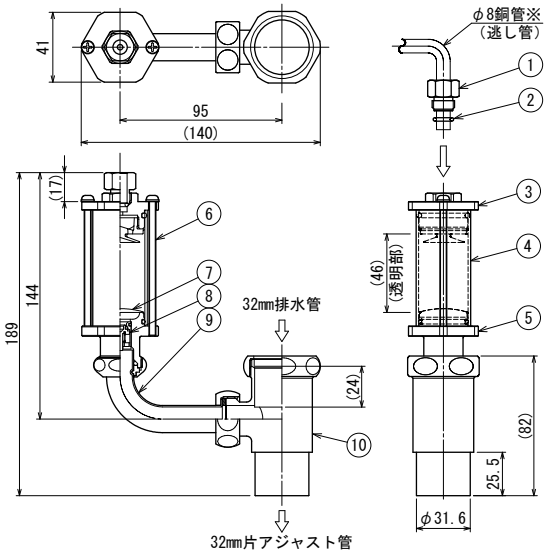
BCH-1M

洗面器(32A洗浄管)
Sトラップ用

各部名称

①銅管固定ねじ
② Oリング
③上蓋
④透明パイプ
⑤下蓋
⑥本体固定ねじ
⑦整流フィルタ
⑧逆止弁
⑨接続パイプ
⑩排水金具

※φ 8銅管(逃し管)は別途手配が必要です。給湯器に付属している場合もありますので、詳細は給湯器の納入仕様書、もしくは取扱説明書の付属品をご確認ください。



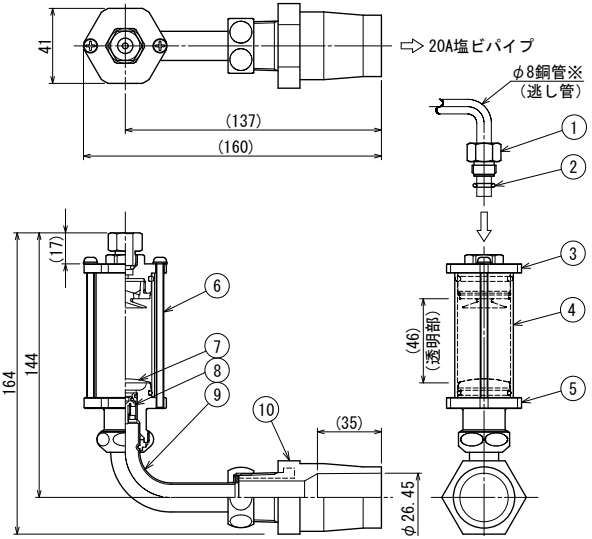
BCH-2M

流し(塩ビ管)20A用

各部名称

①銅管固定ねじ
② Oリング
③上蓋
④透明パイプ
⑤下蓋
⑥本体固定ねじ
⑦整流フィルタ
⑧逆止弁
⑨接続パイプ
⑩インサートバルブ
ソケット

※φ 8銅管(逃し管)は別途手配が必要です。給湯器に付属している場合もありますので、詳細は給湯器の納入仕様書、もしくは取扱説明書の付属品をご確認ください。



ブローキャッチャー(BCH-M)について

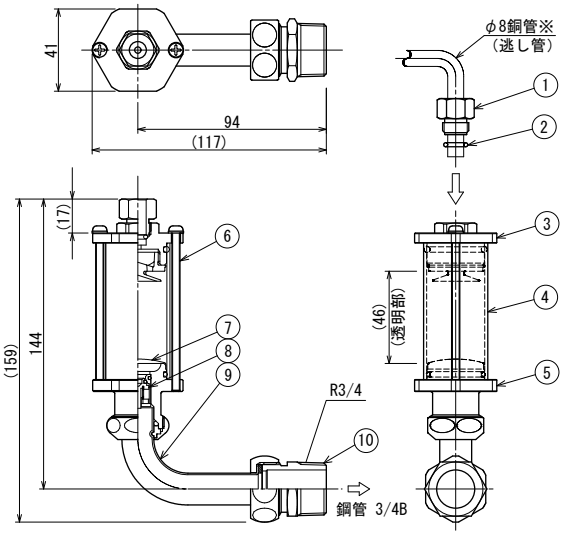
BCH-3M

流し(鋼管)3/4B用

各部名称

①銅管固定ねじ
②Oリング
③上蓋
④透明パイプ
⑤下蓋
⑥本体固定ねじ
⑦整流フィルタ
⑧逆止弁
⑨接続パイプ
⑩六角ニップル

※φ8銅管(逃し管)は別途手配が必要です。給湯器に付属している場合もありますので、詳細は給湯器の納入仕様書、もしくは取扱説明書の付属品をご確認ください。



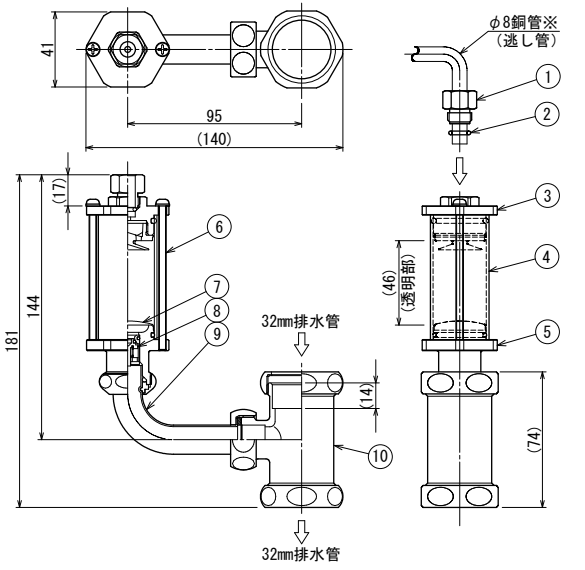
BCH-4M

洗面器(32A洗浄管)
Pトラップ用

各部名称

①銅管固定ねじ
②Oリング
③上蓋
④透明パイプ
⑤下蓋
⑥本体固定ねじ
⑦整流フィルタ
⑧逆止弁
⑨接続パイプ
⑩異径差し込みソケット

※φ8銅管(逃し管)は別途手配が必要です。給湯器に付属している場合もありますので、詳細は給湯器の納入仕様書、もしくは取扱説明書の付属品をご確認ください。



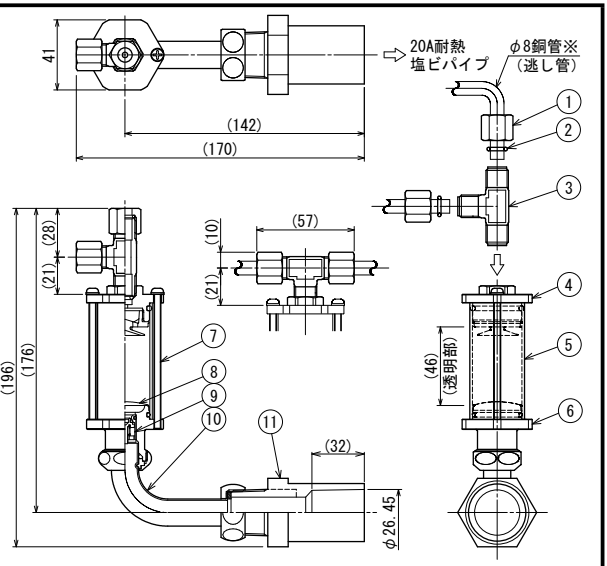
ES-DWシリーズ用
BCH-5M

流し(耐熱塩ビ管)20A用

各部名称

①銅管固定ねじ
②Oリング
③チーズアダプタ
※付属品
④上蓋
⑤透明パイプ
⑥下蓋
⑦本体固定ねじ
⑧整流フィルタ
⑨逆止弁
⑩接続パイプ
⑪耐熱バルブソケット

※φ8銅管(逃し管)は別途手配が必要です。給湯器に付属している場合もありますので、詳細は給湯器の納入仕様書、もしくは取扱説明書の付属品をご確認ください。



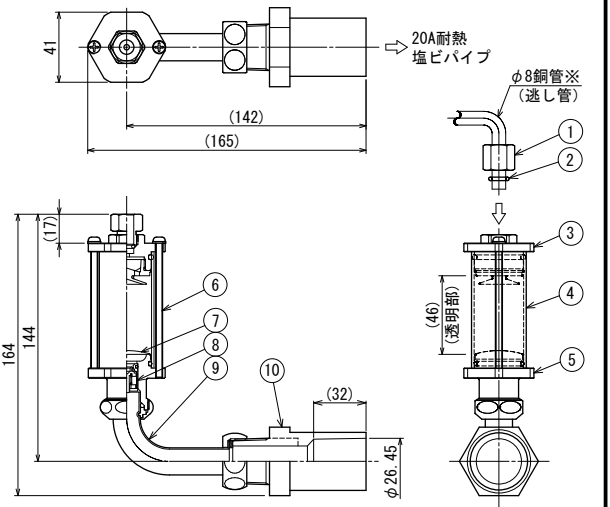
ESDシリーズ用
BCH-6M

流し(耐熱塩ビ管)20A用

各部名称

①銅管固定ねじ
②Oリング
③上蓋
④透明パイプ
⑤下蓋
⑥本体固定ねじ
⑦整流フィルタ
⑧逆止弁
⑨接続パイプ
⑩耐熱バルブソケット

※φ8銅管(逃し管)は別途手配が必要です。給湯器に付属している場合もありますので、詳細は給湯器の納入仕様書、もしくは取扱説明書の付属品をご確認ください。



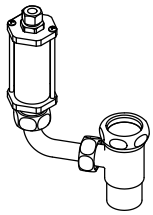
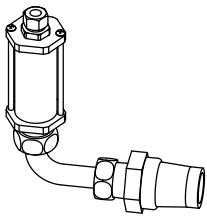
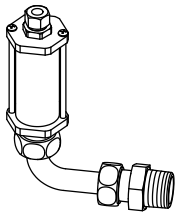
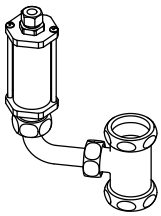
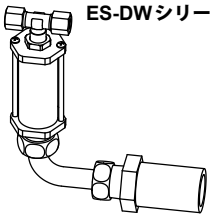
MEMO

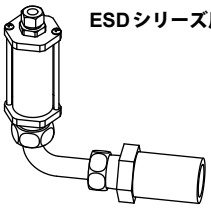
工事要領

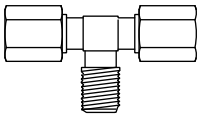
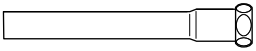
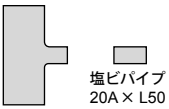
正しく取り付けるため、必ずこの手順に沿って施工してください。

施工前にご確認ください

部品の確認

	製品同梱品		お客様手配品※
	製品本体	付属品	型番で異なるもの
BCH-1M		工事要領・取扱説明書×1 （この冊子です。当冊子は工事終了後、ご使用になられる方へお渡しください。） 	**片アジャスト管または洗浄管ソケット** BCHを取付けるために必要です。
BCH-2M			**接着剤** BCHと配管を接合するために必要です。 **塩ビ径違いチーズ** **（40A × 40A × 20A）** **塩ビパイプ** **（20A × L50）** BCHを取付けるために必要です。
BCH-3M			**シールテープ** 接続部分の漏水防止用として必要です。 **径違いチーズ** **（40A × 40A × 20A）** BCHを取付けるために必要です。
BCH-4M			
BCH-5M	ES-DWシリーズ用 		**接着剤（耐熱塩ビ用）** BCHと配管を接合するために必要です。 **耐熱塩ビ径違いチーズ** **（40A × 40A × 20A）** **耐熱塩ビパイプ** **（20A × L50）** BCHを取付けるために必要です。

	製品同梱品		お客様手配品※
	製品本体	付属品	型番で異なるもの
BCH-6M	 ESDシリーズ用	**工事要領・取扱説明書×1** （この冊子です。当冊子は工事終了後、ご使用になられる方へお渡しください。）	**接着剤（耐熱塩ビ用）** BCHと配管を接合するために必要です。 **耐熱塩ビ径違いチーズ** **（40A×40A×20A）** **耐熱塩ビパイプ** **（20A×L50）** BCHを取付けるために必要です。

	関連商品◎
全型番共通	**チーズアダプタ** （BCH-5Mは製品本体に付属されています） ES-DWシリーズとBCHを併せて使用する場合に必要です。 
型番で異なるもの	**片アジャスト管** （BCH-1M用）  **洗浄管ソケット** （BCH-1M用） **塩ビチーズ**（セット） （BCH-2M用）  塩ビパイプ 20A×L50 塩ビ径違いチーズ 40A×40A×20A

※お客様手配品は施工の際に必要に応じてご用意ください。◎必要に応じて弊社にご注文ください。

設置時の確認

チェックリスト

項　目	チェック内容	チェック
取付台数	給湯器1台につき、ブローキャッチャーを1台ご用意いただいていますか？ 給湯器1台に取付けられるブローキャッチャーは1台のみです。	☐
配管まわり	配管はダブルトラップになっていませんか？ ダブルトラップになっていると膨張水がスムーズに流れませんので、配管を見直してください。	☐
排水管	給湯器にES-DW、ESDシリーズをご使用の場合は、排水管に耐熱性のものをご使用ください。	☐

施工する →標準配管図 P.18

⚠注意	
❗	**取り扱いにはご注意ください。** 強い力が加わると本体の透明パイプが破損するおそれがあります。
	パッキンの入れ忘れやねじ込み部のゆるみにご注意ください。 漏水の原因となります。
	Oリングはねじれないように装着してください。 漏水の原因となります。
	必ず垂直に取り付けてください。 漏水の原因となります。

ご使用の給湯器がES-DWシリーズの場合、チーズアダプタ（関連商品）が必要となります。ご使用になるBCHの取付方法（P.12以降）と併せて下記手順をご参照ください。

チーズアダプタ取付方法 （給湯器がES-DWシリーズの場合）

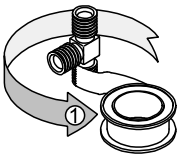
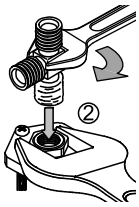
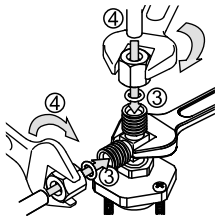
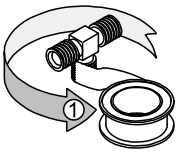
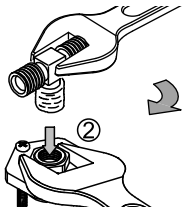
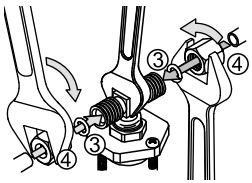
① BCH本体に取り付ける側へねじと反対方向にシールテープ（お客様手配品）を2～3回巻いてください。

② BCH本体にチーズアダプタを差し込み、BCH本体上側をスパナで押さえて、チーズアダプタをしっかりとねじ込んでください。

③給湯器の φ8銅管（逃し管）2本を銅管固定ねじ→Oリングの順に通した後、突き当たるまでチーズアダプタに十分に差し込んでください。

④銅管固定ねじをチーズアダプタにねじ込み、チーズアダプタをスパナで押さえて、銅管固定ねじを締めてください。

⑤最後にすべてのねじ込み部にゆるみがないか確認してください。

手順／方向	①	②	③、④
垂直取付			
水平取付			

BCH-1Mの取付方法

①φ32排水管を袋ナット→ワッシャー→パッキンの順に通した後、チーズ継手へ差し込んでください。

②袋ナットを締めてください。

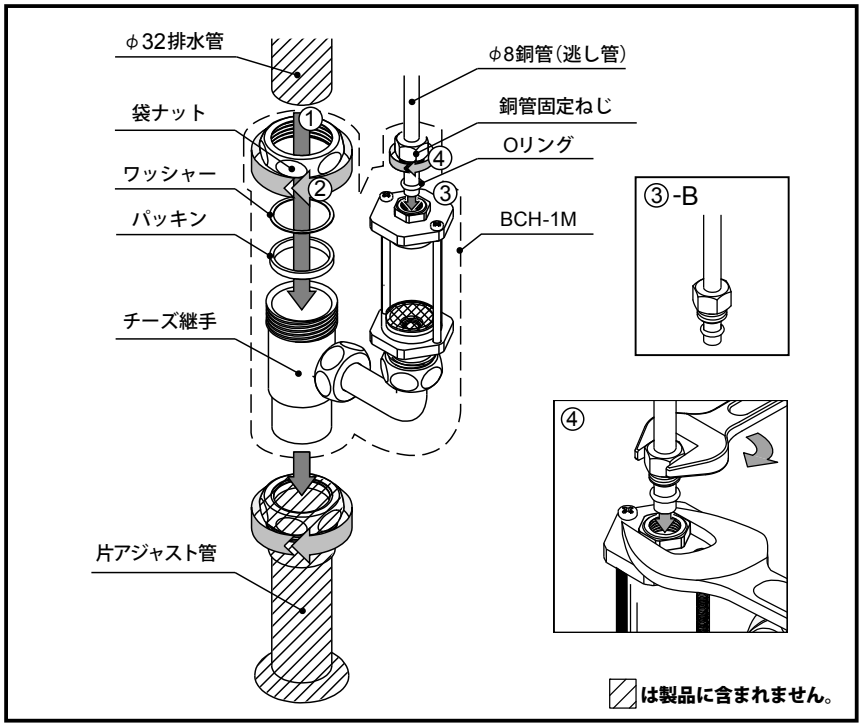
③オプションのチーズアダプタの有無によって手順が異なります。

【A:チーズアダプタを使用する場合(給湯器がES-DWシリーズの場合)】
P.11「チーズアダプタ取付方法」に沿ってチーズアダプタとφ8銅管(逃し管)をBCH本体に取り付けてください。

【B:チーズアダプタを使用しない場合(給湯器がES-DWシリーズでない場合)】
給湯器のφ8銅管(逃し管)に銅管固定ねじを通し、Oリングをはめ込んでからBCH本体に突き当たるまで十分に差し込んでください。

④銅管固定ねじをBCH本体にねじ込み固定し、BCH本体上側をスパナで押さえて、銅管固定ねじを締めてください。

⑤最後にすべてのねじ込み部にゆるみがないか確認してください。



BCH-2Mの取付方法（ES-DW、ESD シリーズには使用できません）

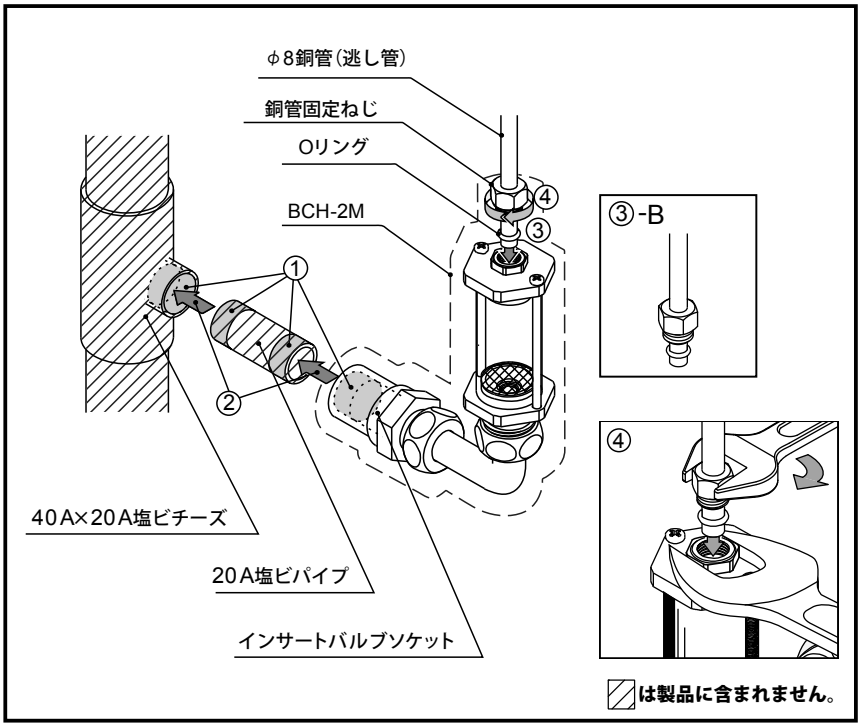
① 40A × 20A塩ビチーズおよび20A塩ビパイプ（関連商品）とBCHのインサートバルブソケットを接続するのに適量の接着剤（お客様手配品）を下図グレーの位置へ塗布してください。

② 20A塩ビパイプを40A × 20A塩ビチーズおよびインサートバルブソケットに接続し、完全に接着してください。

③給湯器のφ8銅管（逃し管）に銅管固定ねじを通し、Oリングをはめ込んでからBCH本体に突き当たるまで十分に差し込んでください。

④銅管固定ねじをBCH本体にねじ込み固定し、BCH本体上側をスパナで押さえて、銅管固定ねじを締めてください。

⑤最後にすべてのねじ込み部にゆるみや接着ミスがないか確認してください。



BCH-3Mの取付方法

①六角ニップルのテーパー側にねじと反対方向にシールテープ（お客様手配品）を2～3回巻いてください。

②六角ニップルをチーズへ差し込んでください。

③六角ニップルを締め込んでください。

④パッキンを間に入れた後、六角ニップルへ袋ナットを接続してください。

⑤袋ナットを締め込んでください。

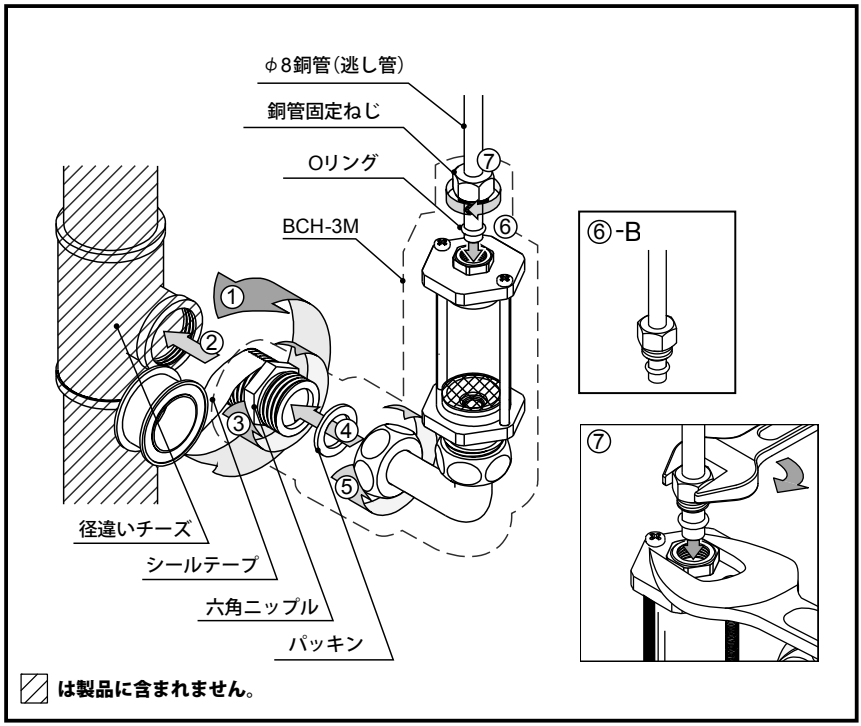
⑥オプションのチーズアダプタの有無によって手順が異なります。

【A:チーズアダプタを使用する場合（給湯器がES-DWシリーズの場合）】
P.11「チーズアダプタ取付方法」に沿ってチーズアダプタとφ8銅管（逃し管）をBCH本体に取り付けてください。

【B:チーズアダプタを使用しない場合（給湯器がES-DWシリーズでない場合）】
給湯器のφ8銅管（逃し管）に銅管固定ねじを通し、Oリングをはめ込んでからBCH本体に突き当たるまで十分に差し込んでください。

⑦銅管固定ねじをBCH本体にねじ込み固定し、BCH本体上側をスパナで押さえて、銅管固定ねじを締めてください。

⑧最後にすべてのねじ込み部にゆるみがないか確認してください。



BCH-4Mの取付方法

①φ32排水管を約 50mmカットしてください。

②左右のφ32排水管を袋ナット→ワッシャー→パッキンの順に通した後、チーズ継手へ差し込んでください。

③左右の袋ナットを閉めてください。

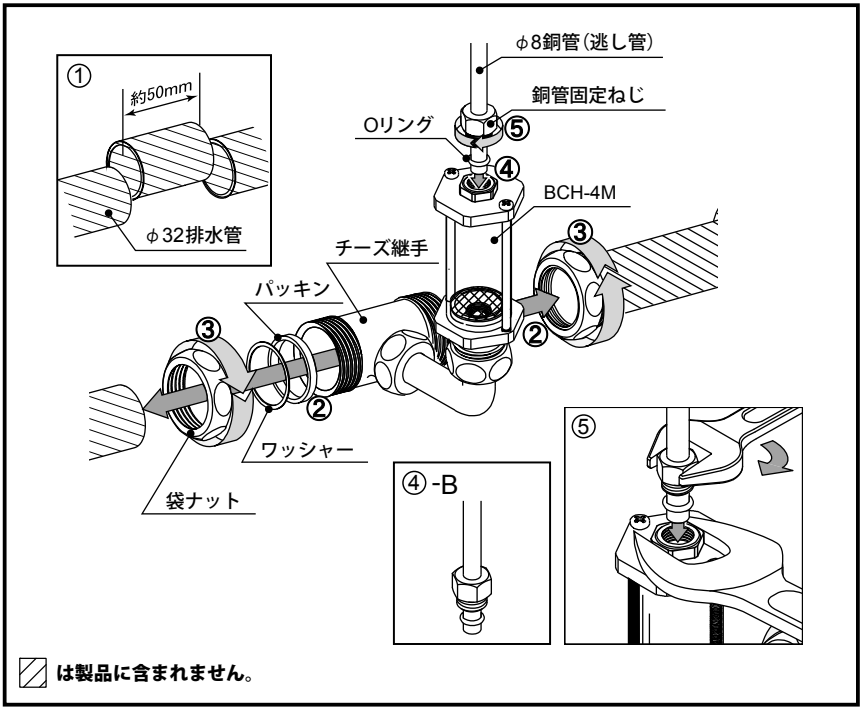
④オプションのチーズアダプタの有無によって手順が異なります。

【A:チーズアダプタを使用する場合(給湯器がES-DWシリーズの場合)】
P.11「チーズアダプタ取付方法」に沿ってチーズアダプタとφ8銅管(逃し管)をBCH本体に取り付けてください。

【B:チーズアダプタを使用しない場合(給湯器がES-DWシリーズでない場合)】
給湯器のφ8銅管(逃し管)に銅管固定ねじを通し、Oリングをはめ込んでからBCH本体に突き当たるまで十分に差し込んでください。

⑤銅管固定ねじをBCH本体にねじ込み固定し、BCH本体上側をスパナで押さえて、銅管固定ねじを締めてください。

⑥最後にすべてのねじ込み部にゆるみがないか確認してください。



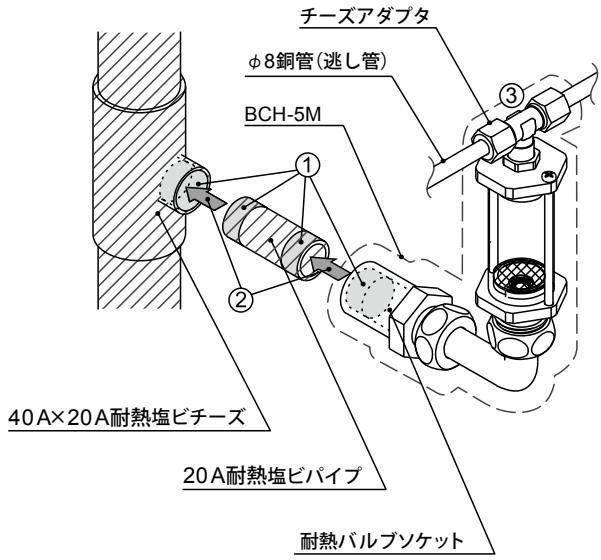
BCH-5Mの取付方法

① 40A × 20A耐熱塩ビチーズおよび20A耐熱塩ビパイプとBCHの耐熱バルブソケットを接続するのに適量の耐熱塩ビ用接着剤（お客様手配品）を下図グレーの位置へ塗布してください。

② 20A耐熱塩ビパイプを40A × 20A耐熱塩ビチーズおよび耐熱バルブソケットに接続し、完全に接着してください。

③ P.11「チーズアダプタ取付方法」に沿ってチーズアダプタとφ8銅管（逃し管）をBCH本体に取り付けてください。

④最後にすべてのねじ込み部にゆるみや接着ミスがないか確認してください。



※図は水平取付の場合

▨は製品に含まれません。

BCH-6Mの取付方法

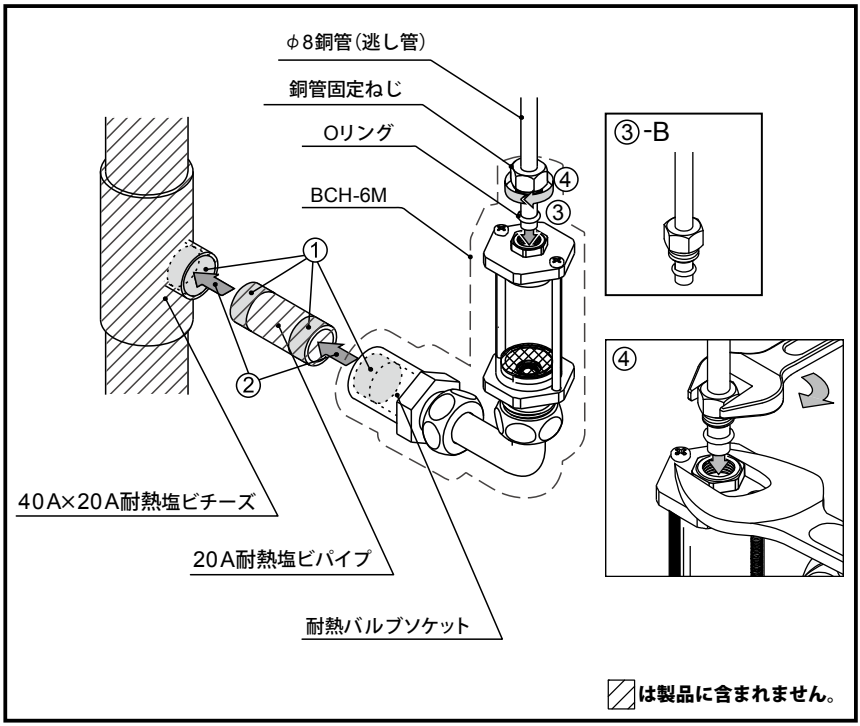
① 40A × 20A耐熱塩ビチーズおよび20A耐熱塩ビパイプとBCHの耐熱バルブソケットを接続するのに適量の耐熱塩ビ用接着剤(お客様手配品)を下図グレーの位置へ塗布してください。

② 20A耐熱塩ビパイプを40A × 20A耐熱塩ビチーズおよび耐熱バルブソケットに接続し、完全に接着してください。

③給湯器のφ8銅管(逃し管)に銅管固定ねじを通し、Oリングをはめ込んでからBCH本体に突き当たるまで十分に差し込んでください。

④銅管固定ねじをBCH本体にねじ込み固定し、BCH本体上側をスパナで押さえて、銅管固定ねじを締めてください。

⑤最後にすべてのねじ込み部にゆるみや接着ミスがないか確認してください。

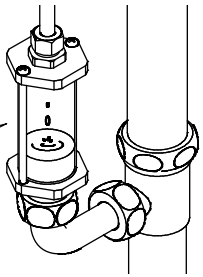


設置、配管後の確認

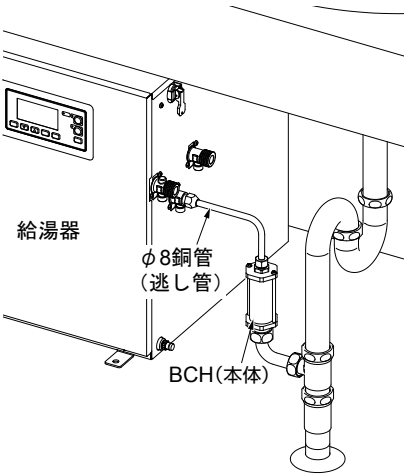
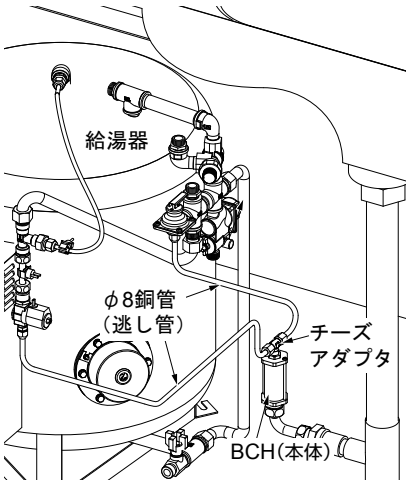
工事終了後、給湯器の取扱説明書を参照して逃し弁の排水テストを行い、以下の事項をご確認ください。

チェックリスト

チェック内容	チェック
がたつきはありませんか？	☐
排水は正しく流れますか？ 排水が正しく流れているか確認してください。	☐
漏水はありませんか？	☐



標準配管図 ※ BCH以外の配管は省略しています。

チーズアダプタなしの場合	チーズアダプタありの場合
	

MEMO

取扱説明

正しく安全にお使いいただくため、必ずお読みください。

使用時の確認

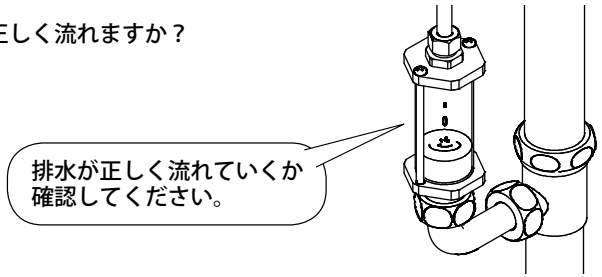
⚠注意

取り扱いにはご注意ください。
強い力が加わると本体の透明パイプが破損するおそれがあります。

給湯器の取扱説明書を参照して逃し弁の排水テストを行い、以下の事項をご確認ください。

チェックリスト

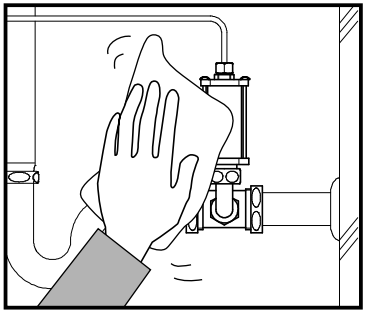
チェック内容	チェック
がたつきはありませんか？	☐
排水は正しく流れますか？	☐
漏水はありませんか？	☐



日常のお手入れ

汚れた場合は水にぬらして絞った柔らかい布などで拭いてください。みがき粉や薬品は使用しないでください。

お手入れの際は、力を掛けすぎないようにご注意ください。



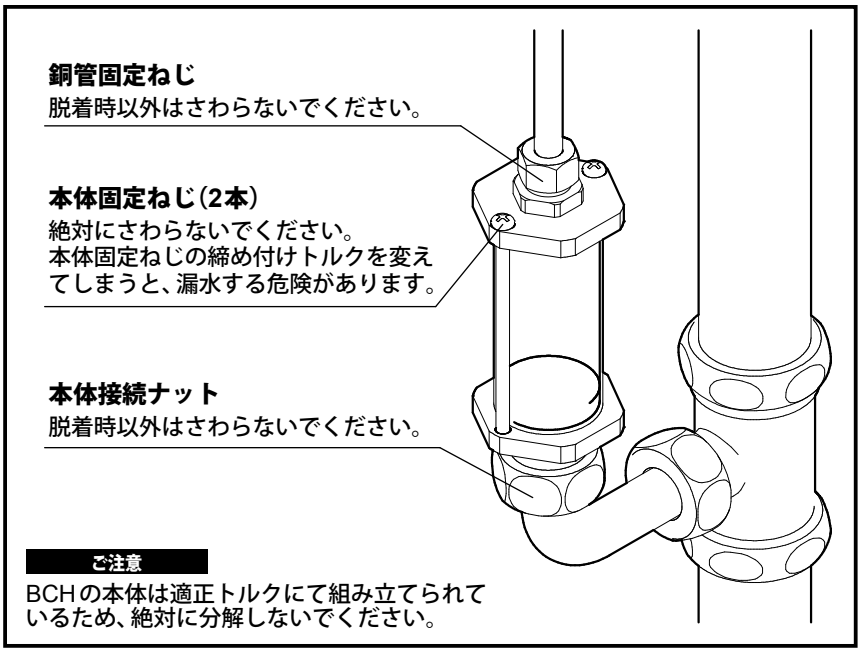
保守点検項目と実施の目安

⚠注意

取り扱いにはご注意ください。
強い力が加わると本体の透明パイプが破損するおそれがあります。

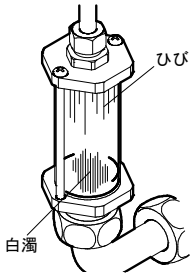
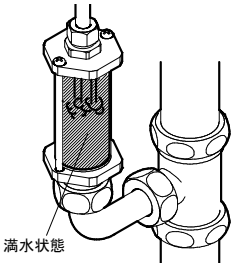
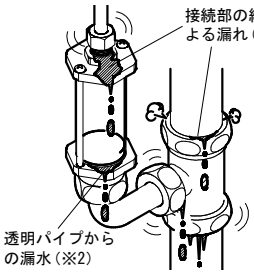
点検項目	点検内容	点検の目安
外観の確認	透明パイプに割れ、白濁がないか確認してください。	1回／月
空気室（透明パイプ）内の水位	水位が満水になっていないか確認してください。	
漏水の有無	漏水の有無を確認してください。	
重要 BCHの動作確認	給湯器の取扱説明書に沿って逃し弁を操作し、排水が正しく流れてるか確認してください。	

注）上記の不具合が生じた場合は、P.23『こんなときは』をご参照ください。



こんなときは

製品が不調な際、修理依頼の前にご確認ください。ここに記載の対処を行っても状態が改善しない場合は、P.24の「アフターサービス」をご参照ください。

状　況	ご確認ください	対処方法
透明パイプに割れ、白濁がある		本体の交換が必要です。 →弊社フロント課、または最寄りの営業所・地区販売会社までご連絡ください。
空気室（透明パイプ）内が満水になっている		本体の交換が必要です。 →弊社フロント課、または最寄りの営業所・地区販売会社までご連絡ください。
漏水している		（※１）接続部の増し締めを行ってください。 （※２）本体の交換が必要です。 →弊社フロント課、または最寄りの営業所・地区販売会社までご連絡ください。

アフターサービス

修理をご依頼の際には

修理をご依頼される時は、下記の故障状況シートをコピーして必要事項にご記入いただき、FAXにてご送付ください。FAXをお使いになられていない場合は記入事項をお電話にてご連絡ください。

(株)日本イトミック フロント課　FAX03-3621-2163
TEL03-3621-2161

※または最寄りの営業所・地区販売会社へご連絡ください。

故障状況シート			
貴 社 名		ご担当者名	
ご 住 所			
T E L		F A X	
製品型番	小型電気給湯器専用 膨張水排出装置ブローキャッチャー　BCH-　　M		
状 態			

【無料修理規定】

本規定は、保証票に記載された製品につき、納入から1年の間に故障が発生した場合、下記記載内容に基づいて無料修理を行うことをお約束するものです。保証票に記載された製造番号をご提示の上、弊社フロント課、または最寄りの営業所・地区販売会社にご依頼ください。

1. 取扱説明書・製品本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で、保証期間内に故障が発生した場合には無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、弊社フロント課、または最寄りの営業所・地区販売会社にご依頼の上、修理に際して保証票に記載された製造番号をご提示ください。なお、遠隔地（離島および離島に準ずる遠隔地）への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は、事前に弊社フロント課、または最寄りの営業所・地区販売会社にご相談ください。
4. 補償範囲は機能部とその付属品のみで、配管類は含みません。
5. 保証期間内でも次の場合は保証の対象とならず、有料修理となります。
   （１）お客様が取扱説明書・本体貼付ラベル等に記載された手順・注意を守らなかったことによる不具合や、部品・湯槽内の清掃など日常のお手入れを行わなかったことによる不具合※1
   （２）Oリング・パッキン類の摩耗・劣化による不具合や、電池の消耗による不具合
   （３）工事要領に指示する方法に基づかない施工や工事設計による不具合※2
   （４）輸送・搬入・移動の際の落下・転倒・接触等による不具合
   （５）専門業者以外による移動・分解・修理・改造などによる不具合
   （６）指定規格以外の電気（電圧・周波数など）の使用や電力契約の間違いによる不具合
   （７）温泉水・井戸水など水道水以外の水を給水したことによる不具合
   （８）設備側の排水不良等による冠水により生じた不具合
   （９）電気・給水の供給トラブル等による不具合
   （10）配管の錆・砂・ゴミ等異物の流入による不具合
   （11）建築躯体の変化などに起因する不具合や、塗装の色あせなどの経年変化またはご使用に伴う摩耗等による外観上の不具合

（12）火災、爆発等の事故、地震・津波・噴火・風水害・雷などの天災や地変、煤煙、降灰、酸性雨、凍結、海岸付近や温泉地等の地域における腐食性の空気環境、ほこり、異常電圧、異常電磁波、ねずみ・鳥・昆虫などの動物の行為、または戦争・暴動など破壊行為による不具合

（13）保証票の提示が無い場合

6. 無料修理により交換された部品や製品は（株）日本イトミックの所有となります。
7. 製品の保証は日本国内におけるご使用の場合のみ有効です。

※1：日常のお手入れとはお客様ご自身で行えるもののほかに、設備業者や管理技術者に依頼が必要なものがございます。製品や部品によってお手入れ方法や時期が大きく異なりますので、取扱説明書やラベル等を必ずご確認いただくとともに、不明点は弊社フロント課、または最寄りの営業所・地区販売会社にご相談ください。

※2：製品によって施工方法や注意事項が大きく異なりますので、施工時には工事要領を必ずご確認いただくとともに、不明点は弊社フロント課、または最寄りの営業所・地区販売会社にご相談ください。

■お客様へ

1. 製品をお受け取りになる際は、製造番号が記載されている保証票が貼り付けられていることを確認してください。
2. 保証票の再発行はいたしません。
3. 機器が正しく運転しない場合や不調な場合は、修理ご依頼の前に「こんなときは」の項をご覧ください。
4. 無料修理期間経過後の故障・修理等につきましては、「アフターサービス」の項をご覧いただくか、弊社フロント課、または最寄りの営業所・地区販売会社までお問い合わせください。
5. 保証票によって、保証票を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

株式会社 日本イトミック

本社・営業本部 ・・・ **TEL：03（3621）2121（代）**
FAX：03（3621）2130
〒131-0045　東京都墨田区押上 1-1-2（東京スカイツリーイーストタワー 24F）
ホームページ　http://www.itomic.co.jp/

《保守契約に関するご相談》

弊社製品を永くお使いいただくためにはメンテナンス契約が有効です。詳しくは下記の弊社リニューアル課までご連絡ください。
また、部品のご注文はフロント課で承っています。

リニューアル課 ・・・ **TEL：03（5860）4992（代）**
FAX：03（3621）2163

《修理に関するお問い合わせ》

ご連絡の際には使用製品の型番・製造番号等の情報をご用意ください。

一般電話・公衆電話の場合（市内通話料金でご利用可能です）
市内通話料でOK ナビダイヤル®
0570−011039

【ナビダイヤルに関するご注意】
※ナビダイヤルは通話料のみでご利用できます。
※電話窓口が混雑している場合、アナウンスが流れた後、話中の音が流れる場合があります。
その場合には、時間をおいて再度おかけ直しください。
※ＰＨＳ、ＩＰ電話からはご利用になれません。その場合には関東地区のお客様はフロント課、中部・北陸・近畿地区のお客様は西日本修理受付センター、その他の地域のお客様は最寄りの営業所・地区販売会社まで直接お電話ください。

フロント課 ・・・・・・ **TEL：03（3621）2161（代）**
FAX：03（3621）2163

西日本修理受付センター ・・・ **TEL：052（228）0824**

《担当エリアと営業所・地区販売会社》

北海道地区 ・・・・・・